

☆ 韓 国

企業動向 暁星、染色可能なスパンデックスを発表

暁星は、仏 European Stretch Fabrics と連携し、染色可能なスパンデックス繊維 *Creora dyeable* を開発した (*Creora* については海外速報 902 号 2011/9/30 を参照)。暁星によれば、*Creora dyeable* は染色堅牢度に優れており、ナイロンと交編し、たて編み、織物、靴下・メリヤス類、丸編み向けに供給する。

☆ 中 国

合繊設備 江蘇南洋彩色繊維母粒、再生ポリエステル生産へ

江蘇南洋彩色繊維母粒有限公司は、再生ポリエステル繊維工場の建設計画を明らかにした。投資総額は 9,000 万元 (約 11 億円)、今後 2 年の工期が計画され、2 本の生産ラインが建設される。プロジェクト全体が完成すると、生産能力はポリエステル短繊維 5 万ト、年間生産高 5 億元、付加価値税 3,000 万元以上、150 人の雇用創出となるという。このポリエステル短繊維工場は、中国政府が重点的に発展を支援する省環境保全ハイテクプラントであるという。

合繊設備 東南網架、差別化ポリエステル生産へ

建築鋼材の生産を主力とする東南網架は、このほど化繊業界に進出する意向を明らかにした。同社は、100% 出資子会社である浙江東南建築膜材有限公司を通じて、4.96 億元 (約 60 億円) を投じ、年産 20 万トのポリエステル工場を建設する計画である。工場の建設期間は 12 ヶ月。工場の投資回収に 4.35 年を見込んでいる。生産される製品は、シルクライクの差別化繊維であり、吸湿性、保温性、耐アルカリ性などの特徴を備えており、建築装飾業界、家庭用繊維業界向けに使用されるという。

中国では、都市化が進む中、建築装飾リフォーム業界の市場規模は、2 兆元/年を超える規模に成長したといわれており、ホテル、オフィスビル、レジャー施設などでは、6~8 年より短い周期でリフォームが行われるという。こうした建築装飾分野は今後も引続き大幅な伸びが見込まれることから、同社は新たに化繊業界に参入したという。同社の工場完成後の年間売上は 30 億元を見込んでいる。

合繊生産 吉林化繊、原着アクリル繊維を開発

吉林化繊集団は原着アクリル繊維の生産ラインの試運転が成功したことを明らかにした。同集団によると、原着アクリル繊維の生産は中国

で初めてである。同工場の設備能力は年産 4,000 トン。吉林化繊集団は、中国最大の炭素繊維原糸生産ラインを稼働させているが、原着アクリル繊維についても国内の空白を埋めたという。

今回試運転に成功した生産ラインは、イタリアから先進技術と設備を導入したもので、紡糸前に添加する技術を採用した。製品の染色堅牢度が高まり、色鮮やかさ、日焼け防止能力が高まり、日傘、ビーチパラソル、テントなどのアウトドアレジャー用品などに広範に用いられ、全工程において染色廃液の廃棄がないという。同社では、基礎色は 15 余りであるが、顧客が指定する色のアクリルを生産することができるという。この生産ラインによって、通常品に比べ 1,000 万元以上の利益が増加するという。現在の吉林化繊のアクリル製品の差別化率は 17% に達するが、今回の開発によって差別化比率は更に 2% ポイント上昇すると見込まれる。

繊維業況

保健機能繊維品市場は拡大見通し

中国保健用品産業発展白書によると、中国の保健機能繊維製品業界の生産高は、2015 年までに 1,000 億元規模に達すると見込まれるという。ただし、同業界は、小規模企業が大多数であり、生産量のわりに収益が低く、生産能力は過剰、環境対応が不足しているなどの問題点を抱えているという。

同白書では、保健機能繊維製品 CAS115-2005 という協会標準に基づき、保健繊維製品の用途を、寝具、服飾、その他の 3 つに分類している。これらの業界では大型～中型企業の比率は 6% を占めるのみであり、多くの企業が零細企業であり、私営企業が 1,858 社と全体の 90.24% を占めている。主な生産地域は浙江省、広東省、江蘇省、上海、山東省であり、保健機能繊維製品を主とする産業集群も形成されている。現在、保健機能繊維製品業界では、新たな取り組みとして、シニア市場の出現によって、消費ニーズに合わせて特色のある、的を絞った保健用品や保健サービスの開発を進めているという。

☆パキスタン

通 商

印からの輸入にネガティブリスト導入へ

2 月 29 日、政府はインドからの輸入におけるネガティブリスト（輸入禁止品目リスト）を 1,209 品目に決定すると明らかにした。今後、2012 年 12 月末までに段階的に対象を削除する方向。

パキスタンとインドの両国では、昨年末に通商関係の正常化に向けた

交渉が行われており、パキスタンのインドに特化した輸入制度が WTO 協定に違反するとして改正を進めていた。しかし、インドからの輸入の規制緩和によってパキスタンの繊維業界は、インドからの輸入が増加し、国内産業に影響を与えるのを懸念している。

以 上